

血管内焼灼術について

下肢静脈瘤の治療の一つに「血管内焼灼術」があります。
治療方法は、静脈にカテーテルを入れ、血管を焼いて閉塞させる方法です。
局所麻酔で細い管を差し込むだけなので、体への負担が少ない手術です。
また、痛み・出血などのリスクも低いとされています。

当院では、血管内焼灼術のひとつで最新治療機器である、高周波治療機器を導入しました。



欧米では、下肢静脈瘤の治療にこの機器が用いられることが多く、7年以上の治療実績があります。
海外のドクターによる長期治療成績も発表されており、その内容は非常に良好なものです。